

## 最新セキュリティマネジメント(第45回)

### 情報セキュリティマネジメント試験でリテラシー向上

2025.01.31



独立行政法人情報処理推進機構(以下IPA)では、情報セキュリティマネジメントを担う人材を育成するための試験として「情報セキュリティマネジメント試験」を実施している。国家試験「情報処理技術者試験」の新たな試験区分として設置され、ITの基礎知識が問われる「ITパスポート試験(通称:iパス)」の上位に位置づけられる。企業の情報セキュリティを向上させるために有効な試験だ。



**『セキュリティ対策』でお悩みの方に  
おすすめ資料をご紹介します!**

[資料ダウンロードはこちら >](#)

#### 社内のセキュリティ人材を育成するトリガーに

情報セキュリティは、今やどの企業にとっても重要な経営課題であることは間違いない。しかし、そのための人材確保に悩む企業も多いのではないだろうか。解決策の一つが、IPAが実施する「情報セキュリティマネジメント試験」の活用だ。

この試験は、組織の情報セキュリティを確保して脅威から継続的に組織を守るための基本的なスキルを認定する。情報セキュリティマネジメントの計画・運用・評価・改善について基本的な知識と実践能力を持つことを証明し、組織の情報セキュリティ確保に貢献する。対象者はITの安全な利活用を推進する者だ。

重要なのは、この試験を活用して情報セキュリティをマネジメントできる人材の育成だ。こうした人材が社内にいれば、情報セキュリティマネジメント体制を適切に確立でき、インシデントが発生した時にスムーズに対応できる。情報セキュリティに関する従業員教育にも有効で、社内のセキュリティ意識向上を促せる。

試験はCBT(Computer Based Testing)方式で実施されており、全国の指定会場で随時受験が可能だ。出題傾向や、活用例を見てみよう。

合格者が社内外に効果をもたらす… 続きを読む